

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【公開番号】特開2013-81832(P2013-81832A)  
 【公開日】平成25年5月9日 (2013.5.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-022  
 【出願番号】特願2013-23404(P2013-23404)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月29日 (2013.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

複数の役がそれぞれ所定の当選確率を有するように定められた抽選テーブルを用いて、役の抽選を行う役抽選手段を備えるスロットマシンにおいて、

前記抽選テーブルは、

当該遊技で投入された数の遊技媒体を自動投入して再遊技を行う権利を遊技者に与える再遊技役の当選確率が異なる少なくとも 2 種類を備え、

前記役抽選手段は、いずれかの前記抽選テーブルを用いて役の抽選を行い、

前記抽選テーブルごとに、その抽選テーブルから他の前記抽選テーブルに切り替えるための条件が予め定められており、

前記役抽選手段で用いる前記抽選テーブルを、他の前記抽選テーブルに切り替えるための条件を満たしたか否かを判定する条件判定手段を備え、

前記条件判定手段は、前記 2 種類の抽選テーブルのうちの再遊技役の当選確率が低く設定された一の抽選テーブルを用いているときに特定の図柄の組合せが停止したときは、他の一の抽選テーブルに切り替えるための条件を満たすと判定し、

前記一の抽選テーブルを用いているときに前記条件判定手段により前記他の一の抽選テーブルに切り替えるための条件を満たしたと判定されたときは、前記一の抽選テーブルから前記他の一の抽選テーブルに切り替える抽選テーブル切替え手段を備える

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、複数の抽選テーブルを備えるスロットマシンに関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 2 】

従来のスロットマシンにおいて、第 1 確率テーブルと、再遊技役の当選確率が、いずれの役にも当選しない確率以上の値を有し、かつ、傾斜値が第 1 確率テーブルより高く設定された第 2 確率テーブルとを備えるスロットマシンが知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

## 【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】特開 2 0 0 1 - 1 3 7 4 3 0 号公報

## 【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【 手続補正 8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

本発明が解決しようとする課題は、複数の抽選テーブルを備えるスロットマシンにおいて、抽選テーブルの切り替え契機に特徴を持たせることである。

## 【 手続補正 9 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 8 】

本発明は、以下の解決手段によって、上述の課題を解決する。

本発明は、

複数の役がそれぞれ所定の当選確率を有するように定められた抽選テーブルを用いて、役の抽選を行う役抽選手段を備えるスロットマシンにおいて、

前記抽選テーブルは、

当該遊技で投入された数の遊技媒体を自動投入して再遊技を行う権利を遊技者に与える再遊技役の当選確率が異なる少なくとも 2 種類を備え、

前記役抽選手段は、いずれかの前記抽選テーブルを用いて役の抽選を行い、

前記抽選テーブルごとに、その抽選テーブルから他の前記抽選テーブルに切り替えるた

めの条件が予め定められており、

前記役抽選手段で用いる前記抽選テーブルを、他の前記抽選テーブルに切り替えるための条件を満たしたか否かを判定する条件判定手段を備え、

前記条件判定手段は、前記２種類の抽選テーブルのうちの再遊技役の当選確率が低く設定された一の抽選テーブルを用いているときに特定の図柄の組合せが停止したときは、他の一の抽選テーブルに切り替えるための条件を満たすと判定し、

前記一の抽選テーブルを用いているときに前記条件判定手段により前記他の一の抽選テーブルに切り替えるための条件を満たしたと判定されたときは、前記一の抽選テーブルから前記他の一の抽選テーブルに切り替える抽選テーブル切替え手段を備える

ことを特徴とする。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 2 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正 3 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 3 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 0  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 4 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正 4 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

本発明によれば、再遊技役の当選確率が異なる少なくとも２種類の抽選テーブルを設けることにより、メダルの減り具合が異なる複数の遊技状態を作り出すことができる。

さらに、抽選テーブルの切り替え契機を、特定の図柄の組合せが停止したときに設定したので、再遊技役の当選確率の変動契機に特徴を持たせることができる。

【手続補正 5 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】削除

【補正の内容】